

Web制作技術・Webプログラミング(午後)科(短時間)

訓練コース番号	5-07-14-002-02-0114	訓練コース・分野	実践コース・IT分野
訓練実施施設名	キャリアスクール・ソフトキャンパス横浜校		
募集期間「令和7年6月26日（木）～令和7年7月16日（水）」			
≪ 申込み方法等につきましては裏面参照。≫			

【訓練の目標】

マークアップ言語・スクリプト言語・サーバーサイド言語・データベース言語を習得することにより、Webプログラミングに関連する業務が行えるようになる。

修了後に取得できる資格(任意受験により取得可能な資格)

- ①HTML5プロフェッショナル認定試験(Level.1) 受験料 16,500円(特定非営利活動法人 LPI-Japan)
- ②HTML5プロフェッショナル認定試験(Level.2) 受験料 16,500円(特定非営利活動法人 LPI-Japan)
- ③PHP技術者認定試験初級 受験料 13,200円(PHP技術者認定機構)
- ④VBAエキスパート Excel VBAベーシック 受験料 13,200円(株式会社オデッセイコミュニケーションズ)

就職支援の内容、過去に実施した求職者支援訓練の実績等

◆ 訓練内容

現在の求人市場に求められるスキルでIT・デザインスキルは欠かせないものとなっています。
当校のWeb制作技術・Webプログラミング(午後)科(短時間)に通う事で以下のスキルが身に付きます。

1. Webサイト基礎知識
2. Excel基礎・VBAプログラミング作成演習
3. 写真・画像制作編集、Javascriptによるプログラム実装
4. サイト運営におけるマーケティング・集客スキル
5. データベースを利用した動的サイトの作成

ソフトキャンパス横浜校のインスタ

受講風景や教室の様子などを配信中!



◆ 未経験からでも「手に職を」つけられるカリキュラムになっています

本コースでは、Web開発への初めの一步として、HTML、CSS、JavaScript、PHP、SQLなどの基本的な言語と技術を学び、動的なWebサイトが作成できるスキルを身につけられます。

プログラミングやWeb開発の経験がなくても、わかりやすい説明と実践的な演習により実際に手を動かしてみることでスキル習得につながります。

◆ 講師について

経験豊富なスキルと専門的な知識を持つ講師が担当致します。Web関連資格を保持し、専門的な実践スキルをお教えいたします。

実務で本格的な経験を積んでいる講師が多くおりますので、安心して授業に取り組むことができます。

※本コースはDX推進スキル標準対応コースです。
※本コースは就職支援に加えて特定の資格取得についても支援するコースです。訓練中もしくは訓練終了後に資格を取得された場合は、別途資格取得を証明する書類の提出を求めています。

感染症防止対策

○感染症を防止するために講じている内容

- ・マスク着用の協力依頼
- ・消毒液、うがい薬の設置
- ・登校時の検温
- ・こまめな換気
- ・定期的な共用部分の消毒
- ・非接触型体温計設置
- ・密にならないよう配慮した座席の配置

【訓練期間】

令和 7年 8月 19日(火) ～ 令和 7年 12月 18日(木)

訓練時間 15:50 ～ 19:40

* 土曜日・祝日 一部訓練あり

※8/19、12/18は15:50～17:40

学 科	就職支援、安全衛生、PC・インターネット概論、Webサイト概論、Webプログラミング概論、スクリプト言語概論、PHPプログラミング概論	90	時間
実 技	表計算ソフト操作演習、VBAプログラミング演習、Webプログラミング演習、写真・画像制作演習、スクリプト言語演習、PHPプログラミング演習、データベース演習、Webマーケティング演習、動的サイト開発演習	224	時間
そ の 他	職業人講話	6	時間
合 計		320	時間

《実践コース》

自己負担額（税込み）		受講者が用意する物
教科書代	その他の自己負担額と内訳	
16,500円（※注1）	なし	

（※注1）教科書代等について、訓練開始直前に就職等の理由により辞退された場合、当該教科書代等を負担いただく場合があります。

☆気になるコースの説明を聞くことができます。☆

説明会	訓練に通う事でどのようなスキルを身に付けることができるのか。 どんな人が向いているかなど沢山の質問にお答えします。 説明会は30分程度、質疑応答で30分程度かかります。 説明会は、下記の通り開催予定です。 7/2(水)、7/4(金)、7/9(水)、7/11(金)、7/14(月) ※お時間はいずれも14時～になります。 事前にお問合せの上、ご予約ください。	
訓練実施機関名	株式会社ソフトキャンパス	最寄駅から訓練実施施設までの地図  横浜駅徒歩5分
訓練実施施設名	キャリアスクール・ソフトキャンパス横浜校	
訓練実施施設の住所	〒 220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1丁目5-10 JPR横浜ビル6F	
お問い合わせ先	電話番号 045-290-0321 担当 石村・佐川	
受付時間	平日 10:00 ～ 17:00	

☆申込み方法等☆

受講者募集期間	令和 7年 6月 26日(木) ～ 令和 7年 7月 16日(水)
定員	24名 （受講申込者が募集定員の半数に満たない場合は訓練の実施を中止することがあります。）
訓練対象者の条件	パソコンの基本操作(キーボード・マウス操作)のできる方。
申し込み方法	①ハローワークにて職業相談を行い、訓練受講が適切と認められた場合に受講申込書の交付を受け、必要書類とともに、住所を管轄するハローワークに本人が募集期間内に申し込み手続きをしてください。 ②本人が「ハローワーク受付後の受講申込書提出先」へ直ちに連絡し、ハローワークで受付された受講申込書をご提出ください。
受講給付金	一定の要件を満たした場合、職業訓練受講給付金が支給されます。 詳しくは、住所管轄のハローワーク窓口にお尋ねください。

ハローワーク受付後の受講申込書提出先		選考日	令和7年7月28日(月)
提出先住所と宛先	〒 220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1丁目5-10 JPR横浜ビル6F キャリアスクール・ソフトキャンパス横浜校	選考会場	〒 220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1丁目5-10 JPR横浜ビル6F キャリアスクール・ソフトキャンパス横浜校
お問い合わせ先	電話番号 045-290-0321 担当 石村・佐川	選考方法	面接・適性検査
受付時間	平日 10:00 ～ 17:00	持ち物	筆記用具
		選考結果発送日	令和7年7月31日(木)

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 株式会社ソフトキャンパス

(様式A-9)

訓練の種別	☒	基礎コース ()			就職を想定する職業・職種					
	☒	実践コース (02 IT分野)								
	☒	職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービスコース	☒		短時間訓練コース (月80時間以上100時間未満)				
	☒	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	☒						
訓練科名	Web制作技術・Webプログラミング(午後)科(短時間) ※40文字以内で記入してください。				Webプログラマー					
募集期間(予定)	令和7年6月26日 ~ 令和7年7月16日									
選考日(予定)	令和7年7月28日									
選考方法	☒	面接	☐	筆記試験	☒	その他 (適性検査(パソコンを使用した入力操作と保存操作))				
選考結果通知日	令和7年7月31日									
訓練期間	令和7年8月19日 ~ 令和7年12月18日 (4 か月) (訓練日数 85 日)									
訓練時間	15 時 50 分 ~ 19 時 40 分				訓練定員	24 名				
訓練対象者の条件	パソコンの基本操作(キーボード・マウス操作)のできる方。									
訓練推薦者 (特定の者を想定する場合のみ)	☒	新規学校卒業者	☒	ニート等の若者	☒	障害者	☒	母子家庭の母等		
	☒	被災者	☒	外国人	☒	その他 ()				
訓練目標 (仕上がり像)	マークアップ言語・スクリプト言語・サーバーサイド言語・データベース言語を習得することにより、Webプログラミングに関連する業務が行えるようになる。									
訓練修了後に取得 できる資格	名称 (HTML5プロフェッショナル認定試験(Level.1))	認定機関 (特定非営利活動法人 LPI-Japan)	☒	任意受験						
	名称 (HTML5プロフェッショナル認定試験(Level.2))	認定機関 (特定非営利活動法人 LPI-Japan)	☒	任意受験						
	名称 (PHP技術者認定試験初級)	認定機関 (PHP技術者認定機構)	☒	任意受験						
	名称 (VBAエキスパート Excel VBAベーシック)	認定機関 (Odyssey)	☒	任意受験						
	名称 ()	認定機関 ()	☒	任意受験						
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					☐					
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					☒					
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)					☐					
訓練内容	訓練概要	Webプログラミングに必要なマークアップ言語、スクリプト言語、サーバーサイド言語、データベース言語、デザインソフトに関する知識及び技能・技術を習得する。【短時間・IT 資格・DSS 対応】日によって訓練時間が異なる場合があるため、詳細については、コース案内でご覧ください。								
	科目	科目の内容				訓練時間				
	学科	就職支援	履歴書・職務経歴書の作成指導、面接指導				18時間			
		安全衛生	安全衛生の必要性、情報機器作業の留意点(適した作業環境の点検・清掃方法、改善措置)				1時間			
		PC・インターネット概論	ハードウェア、ソフトウェア、オペレーティングシステム、周辺機器、ネットワーク、ITを利用したコミュニケーション、コンピュータと社会、メールソフト、インターネット社会の安全性・モラル、セキュリティ、ChatGPTの活用方法				9時間			
		Webサイト概論	Webサイト基礎知識、制作から公開までの流れ、HTTPSプロトコルの仕組み				10時間			
		Webプログラミング概論	HTML・CSS、Webページ作成の構文記述方法、タグの種類と入力方法、CMSの利用について				20時間			
		スクリプト言語概論	Javascriptによる動的サイト作成の基本知識(Javascriptとは、文字列・数値、演算処理(演算子、判断、繰返し)、配列、json、jquery)				16時間			
		PHPプログラミング概論	PHPIによる動的サイト作成の基本知識、PHP の基礎知識 (PHP 概要、基本構文と変数、文字列・数値、演算処理(演算子、判断、繰返し)、関数、配列)				16時間			
		表計算ソフト操作演習	四則演算、入力補助機能、関数、グラフ(使用ソフト：Office365Excel)				8時間			
	実技	VBAプログラミング演習	開発環境の基本操作、ヘルプ機能、オブジェクトとプロパティ、宣言とデータ型、基本ステートメント(If、Select、For、Do)、ユーザ定義関数、プログラミング作成演習(セル・シート操作プログラム、外部ファイル連携プログラム)(使用ソフト：Office365Excel)				32時間			
		Webプログラミング演習	Webサイト制作基礎、HTML基礎演習、リンク・テーブル・フォーム、Webサイトの作成、CSS基礎演習、複数Webページの運用、プロパティ基礎演習、Webページ模写(使用ソフト：Visual Studio Code)				40時間			
		写真・画像制作演習	写真の編集、アイコン作成、写真・画像ソフトの機能習得(使用ソフト：Photoshop CC)、レタッチ、パナー模写				20時間			
		スクリプト言語演習	Javascriptを利用したWebサイトへのプログラム実装方法				28時間			
		PHPプログラミング演習	テキストの操作、配列の操作、オブジェクトの操作、Webフォームの制作				28時間			
		データベース演習	SQLを利用したデータベース操作、テーブル操作コマンド、行操作コマンド、テーブル結合				19時間			
		Webマーケティング演習	ターゲットの検討、競合調査、マーケティングリサーチ、ユーザービリティを配慮したインターフェース				16時間			
		動的サイト開発演習	サイト開発計画の作成、JavaScriptやPHP、データベースを利用した動的サイトの作成				33時間			
		企業実習	☒	実施しない	☐	実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。			
		職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】・テーマ：IT業界で仕事をする事、在宅ワークに必要なスキルとは デザインギャラリー					2時間		
	【職業人講話】・テーマ：企業で働くために知っておきたい知識 プラージュ労務管理事務所						2時間			
	【職業人講話】・テーマ：IT企業が求める人材とは 株式会社フェローズ						2時間			
	訓練時間総合計	320時間	学科	90時間	実技	224時間	企業実習	0時間	職場見学等	6時間
	受講者の負担する費用	教科書代	16,500円				合計	16,500円		
		その他 ()								
		備考 ()								
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	☒	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する							
		☒	オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)	☒	オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)	オンライン計	時間			
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	テキストのほかに適宜補足プリントを配布し、知識、技能の定着を強化していく。								
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	定期的に個人面談を実施することで、各受講者の状況を把握し、場合によっては時間外に補講を行う等の対策を講じる。								